

地域におけるアルコール関連問題への対応と医療との円滑な連携に関するガイドライン

様々な領域で生じるアルコール関連問題



アルコール関連問題の背景にあるアルコール健康障害

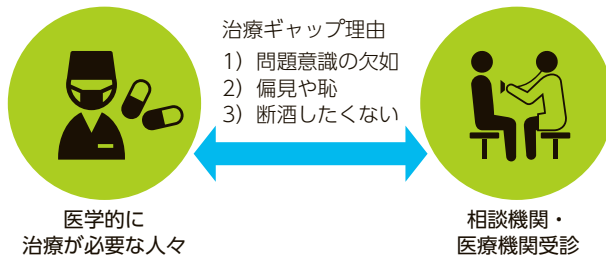
アルコール依存症

有害な飲酒（心身へ悪影響）

危険な飲酒（飲み過ぎ）

治療ギャップの存在

治療が必要と思われる状態だが相談機関や専門の医療機関に受診できていない状態



●可能性に気づく

対応している課題

住民の困りごと

- ・アルコール関連問題ではないか？
- ・過剰な飲酒をしていないか？
- ・背景にアルコール健康障害がないか？

●適切に関わる

適切な紹介先の知識

精神保健
福祉センター

保健所

アルコールに詳しい
内科等の医療機関

アルコール依存症
拠点医療機関 / 専門医療機関

適切なコミュニケーションの取り方
(治療ギャップ理由に配慮)

課題の明確化

偏見や恥の
気持ちに配慮

断酒ではなく
減酒を治療のきっかけに

適切な重症度
(問題の深刻度)

徐々に課題・
困りごとが
複雑・深刻化



できる限り早期から
アルコール関連
問題・健康障害に対処

●無理なく関わる

簡単には
あきらめない

無理のない範囲で
継続的に関わる



●必要に応じたシステム化

条例や社内規定制定
(飲酒運転対策)

連携会議
(対応困難事例の相談・議論)

支援者負担を軽減する対応